

ペットのためのPET検査



わんちゃんやねこちゃんにも、私たち人間と同様に「PET検査」ができることを、ご存知でしたか？まだまだなじみは薄いですが、日本の獣医療でもPET検査ができる制度や環境は整っています。ところで、PET検査とは、いったいどんな検査でしょう。一緒に、ペットのためのPET検査をのぞいてみましょう。

公益社団法人日本アイソトープ協会
獣医療におけるRI利用専門委員会 委員長
麻布大学 獣医学部 教授

山田一孝

PETとは どんな検査ですか？



放射線を出すアイソトープというお薬を投与して、体の中を調べる画像診断検査です。

検査中に逃げ出してしまうないように麻酔をかけますが、決して痛くはありません。この絵のように、装置の中に入り20分ほどで検査は終わります。

数時間で体から放射線は出なくなりますが、家族への影響が完全になくなるまで、検査後1泊の入院が必要です。

PET検査で何がわかりますか？



がん^(※)の早期発見や転移の検出ができます。
がんはエネルギー源としてブドウ糖を大量に消費します。
この性質を利用して、PETは体の中にできた小さながんを見つけます。

がんが小さいうちに治療をはじめれば、ペットの健康寿命も長くなります。治療が成功したかを判断することもできます。

将来、PETを使ったペットのがん検診の時代が来るかもしれませんね。

(※) 脳と膀胱以外の多くのがんが分かります。



がんは、人間と同様に早期発見が重要です。
7歳を過ぎたらがん検診を受けましょう。

PET検査はどこで受けられるの？

北里大学医学部附属動物病院

2019年の時点で、国内で唯一核医学検査を行うことができる動物病院です。

患者の状態や検査によっては、麻酔・鎮静を行う必要もあるので、受診にはホームドクターからの紹介が必要です。

<問合せ先>

学校法人 北里研究所北里大学
獣医学部附属動物病院

TEL 0176-24-9436

FAX 0176-22-3057

「小動物診療センター」

の詳細はこちらから↓

(CT、MRI、高精度放射線
治療装置、核医学検査装置などの
最新設備を備えています)

<アクセス>

空 路：三沢空港よりタクシーで25分

新幹線：七戸十和田駅よりタクシーで20分



編集 公益社団法人 日本アイソトープ協会
理工・ライフサイエンス部会
獣医療におけるRI利用専門委員会
監修 獣医放射線学教育研究会

お問合せ先：公益社団法人 日本アイソトープ協会 学術振興部学術課
〒113-8941東京都文京区本駒込2-28-45
TEL 03-5395-8081 E-mail gakujutsu@jrias.or.jp